

入園・進級し、1か月が経ちました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。新入園のお子さんたちもとても可愛い笑顔を見せてくれるようになってきましたよ(*^_^*)

数カ月に渡り、りんご病と溶連菌感染症が流行しています。溶連菌に関しては、発熱はなくても喉の赤み等で診断を受けているお子さんもおりますので、体調の変化を見逃さず、早めの治療で軽く済むことができれば良いですね。

先月の発熱時の対応に続き、今月は園での咳の時の対応を記載しますので、参考にして頂きたいと思います。

*****咳の時の対応*****

登園を控えるのが望ましい時	保育が可能な時	保護者へ連絡する時	至急受診が必要と考えられる時
* 前日に発熱がなくても ・夜間しばしば咳のために起きる。 ・喘息や呼吸困難がある。 ・呼吸が速い。 ・37.5℃以上の熱を伴っている。 ・元気がなく機嫌が悪い。 ・食欲がなく朝食、水分が摂れない。 ・少し動いただけで咳が出る。	* 前日 38.0℃を超える熱は出ていない。 ・喘鳴や呼吸困難がない。 ・続く咳がない。 ・呼吸が速くない。 ・37.5℃以上の熱を伴っていない。 ・機嫌がよく元気がある。 ・朝食や水分が摂れている。 ・感染の恐れがないと診断された時	・37.5℃以上の発熱がある。 ・咳があり眠れない。 ・ゼイゼイ、ヒューヒュー音があり眠れない。 ・少し動いただけでも咳が出る。 ・咳と共に嘔吐が数回ある。	* 以下の場合には緊急受診が必要。 ・ゼイゼイ、ヒューヒュー音がして苦しそうなとき。 ・犬の遠吠えの様な咳が出る。 ・発熱を伴い(朝は発熱無し)息づかいが荒くなったとき。 ・顔色が悪く、ぐったりしている。 ・水分が摂取できないとき。 * 元気そうだった子供が突然咳込み、呼吸が苦しようになった時。

※新型コロナ、インフルエンザ等、注意が必要な感染症の流行時期に、咳の症状があって登園する際は、マスクの着用をお願いします。マスクが着用できなければ、お預かりできない場合もありますのでご了承ください。

爪について

爪(つめ)が伸びていると、友達をひっかいてしまったり、折れたりなどと、けがの原因となります。また爪は、汚れが溜まり不潔になりやすいところにもかかわらず、指しゃぶりや爪をかむくせがある子も多く、汚れたままにしておくとばい菌を直接取り込んでしまいます。週に一度は指先のチェックを行うようにしましょう。

爪の働き

指先を保護したり、手の平側からの感触を受け止めたりする他にも、爪から健康状態を知ることができます。爪全体の色が紫色をしていたり、白くにごっていたり、すじや溝ができている場合は病気の可能性もあるので、気になる場合は病院へ行きましょう。

爪ケアのポイント

爪の手入れの目安は1週間に1回程度です。お風呂上がりの爪がやわらかい時が切りやすいのですが、切り過ぎるとばい菌が入ることもあるので深爪にならないよう、十分に気を付けましょう。

